

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード： D015A

英文科目名称： Japanese Constitutional Law

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年	2単位 (2-0)	選択科目：2024以（共通科目）／2023以前（大学共通科目 Global Studies）
担当教員			
David Ulvog			
授業形態：講義	ナンバリング：GEC110／GLS244		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理の知識を得てそれを理解した上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することができる。そうした技能をもって、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになる態度をもつことが目標である。		
授業の概要	まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に学びます。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。		
授業計画	第1回 ガイダンス、近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ 【事前学習】 最初講義の準備のため、日本国憲法を読んでください。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第2回 日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？） 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第3回 基本的人権（基本的人権の総論） 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第4回 人権享有主体・幸福追求権 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第5回 法の下の平等 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第6回 精神的自由～内心の自由 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第7回 中間試験 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第8回 表現の自由 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間		

	第 9 回 表現の自由の制限 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 0 回 経済的自由（財産権保障の構造他） 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 1 回 社会権（自由権とはどう違うのか？） 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 2 回 統治総論 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 3 回 国会および内閣 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 4 回 裁判所 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：2時間 ※学習に必要な時間：4時間 第 1 5 回 平和主義、総まとめ 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：2時間 第 1 6 回 定期試験 定期試験 学習に必要な時間：4時間 ※学習に必要な時間：4時間
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『スタート憲法入門第3版補訂版』吉田仁美[編]（成文堂）
参考書	講義にて紹介
評価方法	中間・期末試験の結果、授業への参加度、授業態度などから総合的に評価する。 定期試験：80% 授業態度と受講者の発表：20% ※宿題の提出期限過ぎは受け付けしません。もし公欠が原因の場合、証明できる書類を提出してください。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 （英語コミュニケーション学科） 【 】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことが

	できること 【】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること（観光文化学科） 【】 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【○】 3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。毎回授業のため、予習・復習してください。
オフィスアワー	※後期に決定後、通知 （仮）毎週**曜日 **限目 Ulvog研究室 ※メールおよびオンライン面談も行う。 面談の設定については、TEAMSのチャットで連絡ください。
課題に対するフィードバック方法	試験やクイズの後、講義にてフィードバックする。

講義科目名称： 体育一般

授業コード： 4062A 5219A

英文科目名称： General Physical Education

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～3年	2単位(1-1)	選択科目：共通科目
担当教員			
安田 知子			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：SSS275		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】体育・スポーツ、健康の理論と実際 【到達目標】 知識・理解の観点：「体 からだ」について、解剖学的知識（部位や働き）と運動学的知識（動き方）から考えることができるようになる。 技能の観点：解剖学的知識と運動学的知識をもとに自らトレーニングを考え実践できるようになる 安全管理として一次救命等を実施できるようになる 態度の観点：グループワークにおいて、それぞれの役割を踏まえて参加することができる		
授業の概要	アクティブラーニング及びPBLの手法を用い、講義（教室）と演習（体育館）を適宜交互に行うことにより、知識と技能を修得する。 1）学校保健安全法における学校検診やスポーツにおけるメディカルチェック等の理論を理解し、実際に体験することにより、体の運動器官の構造と機能を学ぶ。 2）体育やスポーツにおける安全管理のための応急手当や健康管理としての食について学ぶ 3）インクルーシブ教育、生涯教育としての体育・スポーツについて学ぶ		
授業計画	第1回 オリエンテーション：健康とは何か？（理論） 1）オリエンテーション これから学ぶ内容の概略についての説明。 2）「健康」とは何か？ WHOの定義とスポーツ医学という考え方について。 【事前学習】WHOの「健康」の定義について調べる（2時間） 【事後学習】自分自身の健康の意識について考え、レポートを提出する（2時間） 第2回 健康診断とは①（理論） 運動器検診、スポーツのためのメディカルチェック、新体力テスト、ロコモティブシンドロームについて学ぶ。 【事前学習】 学校安全保健法における運動器検診について調べる（2時間） 【事後学習】 学校で行われる運動器検診とスポーツにおいて行われるメディカルチェックの違いについてレポートを提出する（2時間） 第3回 健康診断とは②（演習） 運動器検診、スポーツのためのメディカルチェック、新体力テスト、ロコモテストを実際に自分の体やクラスメイトの体で確認する。 【事前学習】 前回の講義をもとに手順を考え、演習がスムーズに行えるように準備する（2時間） 【事後学習】 計測した結果をまとめてレポートを提出する。（2時間） 第4回 健康診断③（演習） ラジオ体操、ストレッチの、ロコトレの実際を通して、健康習慣について学ぶ。 【事前学習】 ラジオ体操の歴史について調べる（2時間） 【事後学習】 ラジオ体操の歴史的変遷についてレポートを提出する（2時間） 第5回 からだづくり①（理論） 生活習慣病について学び、自らの食生活に意識を向ける。 【事前学習】 自らの生活習慣、食生活について1週間記録してみる（2時間） 【事後学習】 自らの生活習慣、食生活について1事前に行った記録から考察してみる（2時間） 第6回 からだづくり②（理論） 熱中症の予防と水分補給、食生活について。 【事前学習】 熱中症について調べる（2時間） 【事後学習】 熱中症の対策についてレポートを提出する（2時間）		

	コンビニエンスストアで購入できる朝ごはんについて組み立て、レポートを提出する（2時間）
第7回	からだづくり③（演習） こどもに必要な体の動き、こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）を実施する。 【事前学習】 こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について調べる（2時間） 【事後学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間）
第8回	からだづくり④（演習） こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について学び、組み合わせた運動を作る。 【事前学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間） 【事後学習】 グループで発表した「組み合わせて作成した運動」をレポートする（2時間）
第9回	パラスポーツと生涯スポーツ①（理論） パラリンピックとオリンピックとの種目を比較しながら、障がい者が行うスポーツについて学ぶ。 【事前学習】 東京パラリンピックの競技種目について調べる（2時間） 【事後学習】 自分が興味を持った種目について調べ、レポートを提出する（2時間）
第10回	パラスポーツと生涯スポーツ②（理論） 健康な生活を送るための生涯スポーツについて学ぶ。 【事前学習】 生涯スポーツ、ゆるスポーツについて調べる（2時間） 【事後学習】 グループで実施できる生涯スポーツ、ゆるスポーツを考案する
第11回	パラスポーツと生涯スポーツ③（演習） パラスポーツとしてシッティングバレー、ボッチャを体験する。 生涯スポーツの実践として、風船バレー、くつしたま入れ等を体験する。 【事前学習】 シッティングバレー、ボッチャについて調べる（2時間） 【事後学習】 そのほかのパラスポーツについて、簡易な実施方法について検討する（2時間）
第12回	パラスポーツと生涯スポーツ④（演習） グループで新たな生涯スポーツを考え、実施する。 【事前学習】 グループにて新しいスポーツを考え、プレゼンテーションの準備をする（2時間） 【事後学習】 実施したスポーツについてまとめ、レポートする（2時間）
第13回	応急手当①（理論） 応急手当について学ぶ。 【事前学習】 身近なけがや病気、過去の体験についてまとめる（2時間） 【事後学習】 身近にあるAEDの設置場所、胸骨圧迫のリズムに合う歌、便利なスマホアプリを調べて、レポートする（2時間）
第14回	応急手当②（演習） 応急手当の一次救命処置について、消防庁の応急手当webに沿って学習する。 【事前学習】 消防庁の応急手当webを視聴し、準備する（2時間） 【事後学習】 応急手当webの修了テストを実施し、修了証を提出する（2時間）
第15回	まとめ 提出したレポートの内容を共有しながら、講義内容を振り返る。 【事前学習】 提出したレポートを振り返る（2時間） 【事後学習】 受講者と共有した内容について検討する（2時間）
第16回	総括（テスト） 講義の理解度を確認する試験を実施する。

	【事前学習】 講義内容全般を振り返り試験対策を行う（3時間） 【事後学習】 試験と提出した課題から講義の振り返りを行う（1時間）
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 ☐ グループワーク 2) 情報リテラシーに関する科目 ☐ オンラインによる情報収集、プレゼンテーション 3) ICTの活用 ☐ Teamsによる資料の配布とレポートの提出 4) 初年次教育 ☐ 5) 実践的PBL ☐ インクルーシブ教育を踏まえたプログラム作成
テキスト	なし。適宜資料を配布します。
参考書	関朋昭編「体育・スポーツ・健康概論」ナカニシ出版 2023年
評価方法	毎回の授業時に課すレポート（50%）と最終時に実施する試験（50%）で行います。また、それぞれの60%以上の点数の取得を条件とします。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 (英語コミュニケーション学科) ☐ 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること ☐ 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること ☐ 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること ☐ 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること (観光文化学科) ☐ 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 ☐ 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 ☐ 3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 ☐ 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	1) 講義と演習との組み合わせによって講義が構成されています。事前学習を行い準備をして講義に参加してください。また、事後学習を行い学習内容を整理してください。 2) 体育館で演習を行う場合は、運動に適した服装で参加してください。体育館シューズも用意してください。 3) 資料の配布や連絡は、Teamsを利用します。初回の講義で説明しますので登録をお願いします。
オフィスアワー	1) 授業前後 2) クラスで利用するTeamsのチャット機能、または y-tomoko〇oc.jc.ac.jp (〇→@) にて随時
課題に対するフィードバック方法	授業内で実施します

講義科目名称： 中国語 I

授業コード： 4054A 4054B 4054C

英文科目名称： Chinese I

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	選択科目(英コミ)／選択必修科目(観光)：共通科目
担当教員			
武村 朝吉・王 冬艶			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA114(観光) SLA212(英コミ)		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級中国語の習得。 【到達目標】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を修得できる。また、基本的な文法事項を理解(40個の文型)し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができるレベルを目標とする。		
授業の概要	中国語のピン音(発音記号)の概要を説明するとともに、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、入替練習、対話練習を行う。		
授業計画	第1回 授業概要の説明、第1課：中国語の発音(1) 授業の進め方、評価の基準についての説明。 中国語の発音と声調についての概説。 【事前学習】 中国と中国語について調べてみる。(60分) 【事後学習】 第1課のCDを聞きながら、発音練習を多く行う。(180分) 第2回 第1課：中国語の発音(2)、中国語の声調(1) 発音が難しい中国語の母音・子音の発音練習。 注意を要する母音、有気音と無気音の発音の仕方、巻舌音の発音の仕方等。 中国語の声調コントロールの練習。 【事前学習】 第1課のCDを聞きながら発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。(60分) 【事後学習】 第1課のCDを聞きながら、発音・声調コントロールの練習を多く行う。(180分) 第3回 第2課：中国語の声調(2) 中国語の声調コントロールの練習。基数1～100。“ル化”音。授業用語。 【事前学習】 第2課のCDを聞きながら発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。(60分) 【事後学習】 第2課のCDを聞きながら、発音・声調コントロールの練習を多く行う。(180分) 第4回 第3課文法：人称代名詞、判断文、連体修飾語 私は～と呼びます。(誰々は)～です。(誰々の)お父さん・お母さん・お姐さんは…～です。 【事前学習】 第3課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】 第3課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分) 第5回 第3課本文：「私は明理と呼びます」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】 第3課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】 第3課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分) 第6回 第4課文法：指示代名詞、動詞述語文、省略疑問文 これ・あれは何ですか？これ・あれは～です。ここは・あそこは～です。 動詞熟語文：〔誰々は〕～します。〔誰々は〕～しません。 省略疑問文：〔誰々は〕は？〔何々は〕は？ 【事前学習】 第4課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】 第4課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分) 第7回 第4課本文：「“白無垢”を着る」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】 第4課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】 第4課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行		

	う。(180分)
第 8 回	第5課文法：連動文、介詞、能願動詞“要” 連動文を使ったいろいろな表現：手段、目的等。 介詞“到”を使った表現：「どこどこへは」どう行けば良いですか？「どこどこまで」何分かかりますか？ 能願動詞“要”を使った表現：～しなければならない。(所要時間)かかる。能願動詞“要”の否定形。 【事前学習】第5課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第5課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)
第 9 回	第5課本文：「タクシーひろって行きましょうよ」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第5課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第5課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 0 回	第6課文法：存在・所在を表す“有”、能願動詞“想”、動詞の重ね型 “有”を使った表現：「何々が」ある・ない。「誰々が」いる・いない。 “想”を使った表現：～したい。～したくない。 中間試験 【事前学習】第6課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～5課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)
第 1 1 回	中間試験解説、第6課本文：「何でもあります」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第6課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第6課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 2 回	第7課文法：完了の動態助詞“了”、形容詞述語文、予定を表す“打算” 完了の動態助詞“了”を使った表現：～しましたか？ 色々な形容詞述語文：とても大きい、元気です。 【事前学習】第7課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第7課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習を行う。簡体字の書き取り練習もしっかりと行う。(180分)
第 1 3 回	第7課本文：「とても気持ちが悪いです」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第7課の課本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第7課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 4 回	第8課文法：所在を表す“在”、介詞“離”、能願動詞“可以” “在”を使った表現の肯定形と否定形：【特定の物は】「どこどこに」あります・ありません。 【特定の人は】「どこどこに」います・いません。 “可以”を使った表現の肯定形と否定形：～できる・できない。 【事前学習】第8課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第8課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 5 回	第8課本文：「自転車に乗れない」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第8課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第8課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 6 回	期末試験 【事前学習】第1～8課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】第1～8課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習するとともに、朗読練習をしっかりと行う。(60分)

授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『実用シーンで学ぶ 入門中国語』 宮本大輔・温琳 共著、朝日出版 定価2,200円
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験・期末試験70%。授業参加度・発表30%。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 (英語コミュニケーション学科) 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること (観光文化学科) 【 】1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【 】3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	相互(学生⇄教師, 学生⇄学生)の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 木曜日4限&金曜日4限 武村研究室。希望者は、事前にTeamsチャットで連絡を下さい。
課題に対するフィードバック方法	必要に応じて授業中逐次フィードバックします。

講義科目名称： 中国語Ⅱ

授業コード： D055A D055B D055C

英文科目名称： ChineseⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	選択科目(英コミ)／選択必修科目(観光)：共通科目
担当教員			
武村 朝吉・王 冬艶			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA115(観光) SLA213(英コミ)		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級中国語の習得。 【到達目標】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を修得できる。また、基本的な文法事項を理解(60個の文型を習得)し、初級レベルの中国語の会話文が読め、平易な対話が少しできるようになる。		
授業の概要	個々の発音・声調の具体的な発声方法の十分な練習も継続しつつ、十分な時間をかけ各課を学習する。各課の学習においては、基本的な文法事項の学習に続き、その応用として、入替練習、対話練習を行う。		
授業計画	第1回	授業概要の説明、中国語Ⅰの復習 授業の進め方、評価の基準についての説明。 中国語Ⅰの復習。 【事前学習】 中国語Ⅰで習った部分を復習する。(60分) 【事後学習】 中国語Ⅰで習った部分をじっくり復習する。(180分)	
	第2回	第9課文法：変化を表す動態助詞“了”、程度補語、離合詞 変化を表す動態助詞“了”と完了を表す動態助詞“了”との違い。変化を表す動態助詞“了”のを用いた表現。 日常頻繁に使われる程度補語を用いた表現。 【事前学習】 第9課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】 第1～8課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)	
	第3回	第9課本文：「眠くて死にそうだ」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】 第9課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】 第9課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)	
	第4回	第10課文法：介詞“在”、仮定表現“如果…就”、単純方向補語 介詞“在”を用いた表現の肯定形・否定形：「どこどこで」～する・しない。 仮定表現“如果…就”を用いた表現。単純方向補語の使われ方。 【事前学習】 第10課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】 第10課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)	
	第5回	第10課本文：「悲惨なことになってしまう」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】 第10課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】 第10課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)	
	第6回	第11課文法：強調構文“是…的”、介詞“給”、介詞“和” 強調構文“是…的”を用いた表現(肯定形・否定形) 介詞“給”を用いた表現：「誰々に」～してあげる。介詞“和”を用いた表現：「(人)は」「誰々と一緒に」～する。 【事前学習】 第11課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。(60分) 【事後学習】 第11課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)	
	第7回	第11課本文：「私がつくったんです」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。	

	【事前学習】第11課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第11課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 8 回	第12課文法：連動文、介詞、能願動詞“要” 連動文を使ったいろいろな表現：手段、目的等。 介詞“到”を使った表現：「どこどこへは」どう行けば良いですか？「どこどこまで」何分かかりますか？ 能願動詞“要”を使った表現：～しなければならない。(所要時間)かかる。能願動詞“要”の否定形。 【事前学習】第12課の文法事項をしっかりと理解し、CDを開きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。(60分) 【事後学習】第12課の文法と例文の意味を復習し、CDを開きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)
第 9 回	第12課本文：「私は車の運転が上手です」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第12課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第12課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 0 回	第13課文法：可能補語、二重目的語文、比較表現“跟…一樣” 可能表現の肯定形・否定形：～得了・～不了。二重目的語文の構造と使われ方。“跟…一樣”を用いた表現の肯定形・否定形。 中間試験 【事前学習】第13課の文法事項をしっかりと理解し、CDを開きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。(60分) 【事後学習】第13課の文法と例文の意味を復習し、CDを開きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 1 回	中間試験解説、第13課本文：「私は起きられません」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第13課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第13課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 2 回	第14課文法：動態助詞“過”、受身文、“請”を用いた謙語文 動態助詞“過”を用いた経験表現：～したことがある・ない。受身表現の構造と使われ方。 “請”を用いた謙語文の構造と使われ方。 【事前学習】第14課の文法事項をしっかりと理解し、CDを開きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。(60分) 【事後学習】第14課の文法と例文の意味を復習し、CDを開きながら朗読練習を行う。簡体字の書き取り練習もしっかりと行う。(180分)
第 1 3 回	第14課本文：「あなたにそばをご馳走します」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第14の課本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第14課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 4 回	第15課文法：使役表現、存現文、“有”を用いた謙語文 “叫”を用いた使役表現（肯定形・否定形），“讓”を用いた使役表現（肯定形・否定形） 動態助詞“着”“了”を用いた状態を表す存現文。“有”を用いた謙語文の構造と使われ方。 【事前学習】第15課の文法事項をしっかりと理解し、CDを開きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。(60分) 【事後学習】第15課の文法と例文の意味を復習し、CDを開きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 5 回	第15課本文：「私に見学させて」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第15課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第15課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分)
第 1 6 回	期末試験 【事前学習】第9～16課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】第9～16課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習するとともに、朗読練習をしっかりと行う。(60分)

授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『実用シーンで学ぶ 入門中国語』宮本大輔・温琳 共著、朝日出版 定価2,200円
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験・期末試験80%、授業参加度・発表20%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 (英語コミュニケーション学科) 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること (観光文化学科) 【 】1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【 】3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	相互（学生⇄教師、学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 木曜日4限&金曜日4限 武村研究室。希望者は、事前にTeamsチャットで連絡を下さい。
課題に対するフィードバック方法	必要に応じて授業中逐次フィードバックします。

講義科目名称： 韓国語Ⅰ

授業コード： 4056A 4056B 4056C

英文科目名称： KoreanⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	選択科目（英コミ）／選択必修科目（観光）：共通科目
担当教員			
趙 恩智・岸本 孝根			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA116(観光) SLA214(英コミ)		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	テーマ：初級韓国語の習得 到達目標：ハングルの基礎を学び、文字を読むことを目標とする。基礎レベルに合わせた簡単な会話と読み、書きを身に付く。
授業の概要	この授業科目では、韓国語初歩者のためにハングルの読みや書きなどの基礎を身につけ、簡単な会話ができるようにする。授業のレベルは0からスタートであるため、授業のスピードは初歩者に合わせて行う。授業方法としては、コンテンツなどを使って講義を進める。コンテンツはドラマや芸能、音楽など韓国の資料を活用して基礎レベルに合わせる。以上の事柄を通して、韓国語の基礎になるハングルから、必要最低限の基礎力の修得し、簡単な会話と読み書きを修得し身に付くことができる。
授業計画	第1回 コースガイダンス、ハングルについて ハングルの仕組みと文字の歴史について学ぶ。 【事前学習】ハングルの調べてみる。(1時間) 【事後学習】ハングルの仕組みを復習した上、母音について調べておく。(2時間) 第2回 ハングルの母音について ハングルの母音である文字と音声を説明する。基礎母音を中心に。 【事前学習】2回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】母音の復習とハングルの子音について調べておく。(2時間) 第3回 ハングルの子音について ハングルの子音である文字と音声を説明する。ハングル表を見ながら練習する。 【事前学習】3回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】子音の読みを練習し、合成母音について調べておく。(2時間) 第4回 ハングルの合成母音について、パッチム(1) ハングル表の復習とともに、パッチムを入れたハングル文字を練習する。 【事前学習】4回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】パッチム読みを練習する。(2時間) 第5回 パッチム(2)、ハングル読みの練習 ハングルの連音化など、読みを正しく理解し、練習する。 【事前学習】練習問題の復習と5回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】2回～5回までの資料を見ながら読む練習をする。(2時間) 第6回 自己紹介と挨拶 自己紹介の表現とフリーズについて学ぶ。 語彙：名前、職業、国籍 文法：～は、～です、～ですか?、～は～と申します。 【事前学習】6回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】自己紹介のフリーズと語彙を復習する。(2時間) 第7回 故郷、趣味について 自己紹介の続きで故郷を訪ねるフレーズを練習。 語彙：地域名、名前、趣味 文法：どこ、～です(親しみある言い方) 【事前学習】7回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】6回目のフレーズも合わせて書く練習と読む練習をする。(2時間) 第8回 家族紹介とある・ないの表現 ある・ないの表現を使い家族を紹介する。 語彙：家族名所 文法：～と、あります、ありません 【事前学習】8回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】練習問題と資料のフレーズ練習をする。(2時間) 第9回 場所を示す表現 「こ・そ・あ・ど」の表現を通じて疑問形に答えるパターンを学ぶ。 語彙：物、場所 文法：～は何ですか? 【事前学習】9回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】語彙と文法を活用して作文してみる。(2時間) 第10回 します、しています します、していますの正しい使い方について学ぶ。 語彙：基本動詞、昨日・今日・明日など 文法：～します、～しています 【事前学習】10回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】練習問題の読みと書く練習をする。(2時間) 第11回 しますの丁寧語「합니다/습니다体」 しますの丁寧語「합니다/습니다体」としない形「안」まで学ぶ。 語彙：基本動詞、基本形容詞 文法：丁寧語「합니다/습니다体」としない形「안」 【事前学習】11回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】復習用の丁寧形と否定形を解いてみる。(2時間) 第12回 しますの会話形「해요体」

	より親しみのある丁寧な言葉である「해오체」を使って好きなものを説明する文を使ってみる。 語彙：基本動詞、基本形容詞 文法：～が好きです。～し、～て 【事前学習】12回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】復習用の「해오체」を解いてみる。（2時間） 第13回 過去形 過去形と～（し）にの表現を学んであったことを説明できるようにフレーズ練習をする。 語彙：基本動詞、基本形容詞 文法：～（し）た、～かった、～だった、～（し）に 【事前学習】13回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】1回目から13回目までの文型を復習し日記を書いてみる。（2時間） 第14回 数字（1） 漢数字（いち、に、さん、し）の数え方とカレンダーの読み方を学ぶ。 語彙：数字、曜日 文法：おいくらですか？、どうですか？ 【事前学習】14回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】注文する場面のフレーズを練習してみる。（2時間） 第15回 試験まとめ 2回目～14回目までの授業を復習し、試験まとめをする。試験についての説明や質疑応答の時間。 【事前学習】前回の内容をまとめて予習し、理解できない部分をチェックする。（2時間） 【事後学習】試験範囲を再確認し、試験準備をしっかりとる。（2時間） 第16回 期末試験 学習の成果を試す。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組【プレゼンテーションを使い授業を行う。コンテンツ資料を積極的に活用する。】
テキスト	別途準備（PPT資料、添付資料など）
参考書	国立国語院『韓国語と韓国文化』2020年（韓国）
評価方法	授業態度（10％）、練習問題提出（40％）欠席者は次回の授業まで提出すること。期末試験（50％）
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	第二言語を学ぶことにより、他文化への理解度が深まりそれが「グローバル」社会の多様性と文化理解の「教養を育む」ことにもつながる。 【D P 1～4との関連】 （英語コミュニケーション学科） 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【—】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【—】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること （観光文化学科） 【—】1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【—】3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	レベル0（入門者）向けの授業になるため、授業のスピードとコンテンツ利用が多いです。
オフィスアワー	月曜日：2限目 木曜日：4限目 TEAMSのチャットにて対応。
課題に対するフィードバック方法	次回の授業に行う。

講義科目名称： 韓国語Ⅱ

授業コード： D057A D057B D057C

英文科目名称： KoreanⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	選択科目(英コミ)／選択必修科目(観光)：共通科目
担当教員			
趙 恩智・岸本 孝根			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA117(観光) SLA215(英コミ)		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級韓国語の習得 【到達目標】 ハングルの基礎を学び、文字を読むことを目標とする。基礎レベルに合わせた簡単な会話と読み、書きを身に付く。
授業の概要	韓国語Ⅰの取得者、もしくはそれと同等の語学力を持つ学生を対象にする。数字の教え方をはじめ敬語までより高いレベルを目指して学習する。書く、読むだけではなく会話ができるように集中する。初級者向けの文型を整えた後、勉強に良いK-POPの紹介と曲を一つ選んで韓国語を学ぶ。
授業計画	第1回 コースガイダンス 韓国語Ⅱの準備段階として、韓国語Ⅰのまとめをする。 【事前学習】韓国語Ⅰ取得者は前期の学習をしておく。(1時間) 【事後学習】韓国語Ⅰのまとめを復習する。(2時間) 第2回 数字(2) 基数の数え方と時間から言えるように学習する。 文法：～から～まで 【事前学習】2回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】数字の復習とフレーズ練習をする。(2時間) 第3回 可能形 可能、不可能の文型を学ぶ。 文法：～(する)こと(が)できる、～(ら)れる、できない 【事前学習】3回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】フレーズ練習をする。(2時間) 第4回 仮定の表現 質問形にもなる仮定表現を学んで韓国で旅行した際に使えるフレーズを練習する。 文法：～と、～ば、～たら、～なら、～(す)ればよい 【事前学習】4回目の資料を予習しておく。(2時間) 【事後学習】フレーズ練習をする。(2時間) 第5回 敬語(現在の尊敬語) 病院や薬局で使う表現を学ぶ。身体の名を覚える。 文法：～なさる～、～される～、～なさった～ 【事前学習】5回目の語彙を読んでおく。(2時間) 【事後学習】特殊な敬語と身体部位の資料を復習する。(2時間) 第6回 勧誘形 旅行の計画や約束を取る場面をフレーズを使って練習する。 文法：～(し)ましょうか、～でしょうかね?、～(し)よう 【事前学習】6回目の語彙を読んでおく。(2時間) 【事後学習】フレーズ練習をする。(2時間) 第7回 「～(し)たい」型 休みの計画などがいえるように文型を学ぶ。 文法：～(し)たい、～(し)たがる、～(し)そうですね 【事前学習】7回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】練習問題の問題で間違ったところを改めて書いてみる。(2時間) 第8回 許可や禁止の表現 許可や禁止の表現を学び、クイズを解いてみる。 文法：～(し)てもいい、～(し)ないでください 【事前学習】8回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】参考用の語彙を勉強する。(2時間) 第9回 義務に関する表現 日付関連の語彙も使い、相手の意思を聞いたり自分の意思を言ったりする表現を身につける。 文法：～(し)ます(よ)、～(し)ますか、～(し)なければならない 【事前学習】9回目の資料を読んでおく。(2時間) 【事後学習】参考用の語彙を勉強する。(2時間)

	第10回 理由や丁寧な命令型 バラエティ番組で韓国のゲームを学習し、現代用語を学ぶ。 文法：～（だ）から、～ので、～（し）てください（丁寧な命令） 【事前学習】10回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】語彙と文法を活用して作文を試みる。（2時間） 第11回 意志や約束 未来型にもなる文型と推測の表現、自分の考えや約束の表現を身につける。 文法：～（し）ます（か）、～（し）ます（からね） 【事前学習】11回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】語彙と文法を活用して作文を試みる。（2時間） 第12回 予定の表現 予定・意志・推測の表現を身につける。 文法：～（する）つもりです（か）、～と思います、～はです。 【事前学習】12回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】参考語彙を勉強しておく。（2時間） 第13回 原因・理由の表現 予定の説明や原因・理由の表現を身につける。 文法：～のために、～せいで、～から 【事前学習】12回目と13回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】クイズを解いてみる。（2時間） 第14回 音楽から学ぶ韓国語 色んな文型の勉強ができる曲から韓国語を学ぶ。 【事前学習】事前に曲を聞いてみる。（2時間） 【事後学習】今までの文型をまとめてみる。（2時間） 第15回 試験まとめ 2回～14回の授業を復習し、試験前の説明をする。 【事前学習】前回の内容をまとめて予習し、理解できない部分をチェックする。（2時間） 【事後学習】試験範囲を再確認し、試験準備をしっかりとる。（2時間） 第16回 期末試験 学習の成果を試す。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 ☐ 2) 情報リテラシーに関する科目 ☐ 3) ICTの活用 ☐ 4) 初年次教育 ☐ 5) 実践的PBL ☐
テキスト	PPT資料
参考書	アプリ：「NAVER Korean Dictionary」 「Melon」「Netflix」など
評価方法	授業参加度（グループワーク）（20%）、練習問題提出（30%）、期末試験（50%）
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 （英語コミュニケーション学科） ☐ 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること ☐ 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること ☐ 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること ☐ 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること （観光文化学科） ☐ 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 ☐ 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 ☐ 3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 ☐ 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	基礎の後半ですので、韓国語Ⅰより難易度はあがります。 ＊リモート授業になる場合は、Gooleclass roomで行う。

オフィスアワー	月曜日：2限目 木曜日：4限目 TEAMSのチャットにて対応。
課題に対する フィードバック方法	次回の授業に行う。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	選択科目：2004以降（共通科目）／2023以前（大学共通科目 第2外国語）
担当教員			
又吉 パトリシア			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA216		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 スペイン語の初級文法の習得とスペイン語圏の世界を知る。 【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際に使えるようになる。 スペイン語圏の国々の事情、文化などについて学ぶ。
授業の概要	世界のスペイン語を話す人口は現在およそ5億人以上といわれ、スペインだけでなくラテンアメリカの19の国々でも公用語として使用されている。特に沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的、文化的な交流が活発に行われている状況にある。 講義では教科書だけではなく、副教材として歌や映像などを使って、スペイン語圏の世界を紹介し、また沖縄をスペイン語で紹介する。 スペイン語の文字・発音についての概要を説明するとともに、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。また、挨拶、数の数え方、日時、曜日の言い方等、日常会話で頻出する平易な表現を練習する。 予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること。語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと。
授業計画	第1回 Introduccion: ¡Bienvenidos al mundo del español! スペイン語の世界へようこそ！。授業の進め方、評価の基準等についての説明。スペイン語を公用語とする国々についての紹介。 ① オリエンテーション：授業の進め方、注意点と評価基準の説明する。 ② QUIZで世界におけるスペイン語、スペイン語圏の国々、沖縄と中南米諸国との関係を学習する。 ③ 簡単な挨拶表現と自己紹介の練習。（p. 6） 【事前学習】 スペイン語を公用語とする国々とスペイン語の特徴について調べる。（60分） 【事後学習】 テキストのpp. 58-59スペイン語圏の国々と首都のスペイン語の読み方またそれぞれの国の位置と国旗も暗記する。（180分） 第2回 Introduccion: El alfabeto y la pronunciación del español スペイン語のアルファベットと発音 ① スペイン語のアルファベットを覚える。（p. 7） ② スペイン語の綴りを見て、正しく発音をとイントネーションを身に着ける。（pp. 7-9） ③ スペイン語のアクセントのルールを学ぶ。（p. 9） 【事前学習】 スペイン語のアルファベットと発音についてインターネットで調べる。テキストのpp. 7-9の単語の読み方を考え、音読する。（60分） 【事後学習】 スペイン語のアルファベットと発音について復習する。テキストのp. 9の練習問題を解く。（180分） 第3回 Introduccion: Saludos y frases básicas あいさつと基本表現 ① 前回授業で学んだスペイン語の発音とイントネーションに注意しながら教室内と日常生活で使う基本表現を覚える。（p. 6） ② ペアーであいさつの会話練習する。（p. 6） 【事前学習】 テキストのp. 6を予習する。インターネットでスペイン語のあいさつと基本表現の動画をみて声を出しながら一緒に練習する。（60分） 【事後学習】 クラスメイトとできるだけスペイン語であいさつを交わす練習する。スペイン語のアルファベット、発音、アクセントのルールとあいさつを暗記する。（180分） 第4回 ① テスト1: Introduccion ② ¿De dónde eres? 君はこの出身ですか？ ① テスト1（アルファベット、発音、アクセントと基本表現） ② 主格人称名詞を覚える。（p. 10） ③ 英語のBE動詞をと比べながらスペイン語のSER動詞の使い方と活用慣れるようになる。（p. 10） ④ Dialogo 1の解説と朗読練習。（p. 11） ⑤ 自己紹介を言う又相手を紹介する（SER動詞+名前、国と国籍、職業）（pp. 10-13） 【事前学習】 アルファベット、発音、アクセントと基本表現のテストのため勉強する。（テキストpp. 6-9とpp. 58-59）。（120分） 【事後学習】 テキストのp. 10の主格人称名詞とSER動詞の活用を声を出しながら暗記する。テキストのpp. 94-112の語彙集から国籍と職業に関する単語を探し、ノートに

リストを作成をする。インターネットで有名人の写真を探し、スペイン語で紹介できるように準備する。(180分)

第5回

Leccion 1: Un café y dos churros, por favor. コーヒとチューロス2本を下さい。

- ① スペイン語の名詞の性の区別を見分ける。(p. 14)
- ② 名詞の複数形の作り方を学ぶ。(p. 14)
- ③ 名詞の定冠詞と不定冠詞の作り方と使い方の違いを学ぶ。(p. 14)
- ④ 数字0～15覚える。(p. 74)
- ⑤ バル、レストラン、お店等での注文の会話練習する。

【事前学習】テキストのpp. 94-112の語彙集から食べ物と飲み物に関する単語を探し、性別に分けてのリストを作成する。

インターネットでスペインバルのメニューを調べる。(120分)
【事後学習】テキストのp. 16の練習1-3を解く。名詞の性と数をインターネットで調べて予習する。
数字0～15を暗記する。(テキストのp. 74)。(180分)

第6回

Leccion 2: ¿Dónde está la universidad? 大学はどこにありますか?

- ① ESTAR動詞の直接法現在形の活用を覚える。(p. 14)
- ② 場所を表す単語、お店や公共施設などの語彙を覚える。(pp. 14と17)
- ③ Dialogo 2の解説と朗読練習。(p. 15)
- ④ 場所を尋ねまら説明するの会話練習する。(pp. 14と17)

【事前学習】テキストのp. 14のESTAR動詞の活用を声を出しながら暗記する。(60分)

【事後学習】テキストのp. 17の練習2にあるお店と公共施設の意味、発音と性の区別を調べる。(180分)

第7回

Leccion 2: ¿Qué hay cerca de la universidad? 大学の近くに何がありますか?

- ① 存在を表す: HAY動詞を使って練習する。(p. 17)
- ② ESTAR動詞(所在)とHAY動詞(存在)の使い分けを学ぶ。(pp. 14-17)

【事前学習】テキストのp. 17の練習3の語彙の発音、意味、性の区別を調べる。(60分)

【事後学習】ESTAR動詞とHAYの使い分けをインターネットの動画を見て確認する。(180分)

第8回

Lecciones 1 y 2: ① テスト2 (Lección 1 y 2) ② ¿Qué fecha es hoy? 今日の日付は何ですか?

- ① テスト2 (Lección 1 y 2: pp. 10-17)
- ② 数字: 16～100、曜日、月の語彙を覚える。(p. 74)
- ③ 日付、誕生日、電話番号などを尋ねる会話練習する。

【事前学習】Lección 1と2をテストのために予習する。(120分)

【事後学習】数字16～100、曜日、月の語彙を暗記する。(テキストのp. 74)
日付、誕生日、電話番号などを口頭で言えるように練習する。(180分)

第9回

Leccion 3: ¡Qué dulce y rico! 何と甘くておいしい!

- ① 性格や品質表す形容詞を覚える。(p. 18)
- ② 形容詞の位置と名詞の性数に合わせての変化の仕方を学ぶ。(p. 18とp. 20)
- ③ 簡単な感嘆文や物・人の特徴などを述べる表現の会話練習する。

【事前学習】テキストのp. 18の2と3の形容詞の意味を調べる。SER動詞とESTAR動詞の活用を復習する。

テキストのp. 30の3の感嘆文の作り方を覚える。(120分)

【事後学習】テキストのp. 20の練習問題を解く。SER動詞とESTAR動詞をインターネットで調べ、使い分けを確認する。
人や物の紹介を口頭で言えるように練習する。(180分)

第10回

Leccion 3: Mi casa es tu casa. 私の家は君の家です。

- ① Dialogo 3の解説と朗読練習。(p. 19)
- ② SER動詞とESTARの活用を復習する。(p. 18)
- ③ SER動詞(性質)とESTAR動詞(一時的な状態)の使い分けを学ぶ。(pp. 18-21)違いと使い分けを学ぶ。(pp. 18-21)

【事前学習】テキストのpp. 18-21の単語と表現を復習する。

テキストのp. 21の練習を予習する。(120分)

【事後学習】SER動詞、ESTAR動詞動詞とHAYを使って例文15文を書いて、次の講義に提出する。(180分)

第11回

Leccion 3: ¿Cómo es tu ciudad? あなたが住んでいる町はどんな街ですか?

- ① SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分けの再確認
- ② 所有形容詞と名詞の性と数に合わせての変化を学ぶ。(p. 72)
- ③ 家族に関する語彙を覚える。(プリント)
- ④ 人や場所などの説明する会話をする。(p. 21とプリント)

【事前学習】インターネットで所有形容詞について調べ、テキストのp. 72の表を見て覚える。
テキストのpp. 94-112の語彙集から家族に関する単語を探し、ノートにリストを作成する。(120分)

【事後学習】家族の紹介を口頭で言えるように練習する。(180分)

第12回

Leccion 4: ① テスト3 (Lección 3) ② ¿Qué estudias en la universidad? 大学で何を勉強していますか?

	① テスト3 (Lección 3: SER, ESTARとHAY動詞、形容詞、所有形容詞) (pp. 18-21とp. 72) ② -ar動詞の直説法現在形の活用を覚える。(p. 22とp. 24) ③ -ar動詞を使って相手に質問する練習する。(p. 25) ④ Dialogo 4の解説と朗読練習。(p. 23) 【事前学習】 Lección 3: SER, ESTARとHAY動詞、形容詞、所有形容詞 (テキストのpp. 18-21とp. 72)のテストのために復習する。(60分) 【事後学習】 テキストのp. 22の-ar動詞の意味、書き方と活用を覚える。 テキストのp. 22の前置詞の意味と使い分けを覚える。 テキストのp. 24の練習1-3の練習問題を解く。(180分)
第13回	Leccion 5: Mi familia vive en la Isla de Kumejima. 私の家族は久米島に住んでいます。 ① 前回の授業で学んだ-ar動詞の直説法現在形の活用を確認する。(pp. 22-25) ② -er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用法覚える。(pp. 26-28) ③ Dialogo 5の解説と朗読練習。(p. 27) ④ 前置詞を学び、短い文を書き練習する。(p. 22とプリント) ④ 日常生活や家族などについて尋ねる会話練習をする。(プリント) 【事前学習】 テキストのp. 73の疑問視を覚える。 テキストのpp. 94-112の語彙集から言語に関する単語を探し、リストを作成する。 テキストのp. 26の-er動詞と-ir動詞の意味、書き方と活用を覚える。(120分) 【事後学習】 テキストのp. 28の練習1-4の練習問題を解く。(180分)
第14回	Leccion 5: Estudiamos español en la universidad. 大学でスペイン語を勉強します。 ① -ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用を確認する。(pp. 26-29) ② 学んだ文法項目、語彙を使ってスペイン語で日常生活について作文を書く。 【事前学習】 規則動詞の活用を声を出して覚える。 規則動詞を使って簡単な質問と答えの練習する。(120分) 【事後学習】 Lección1-5で学んだ文法項目また語彙を使って自己紹介また家族の紹介を作文(20文)書いて提出する。 口頭テストのための準備をする。(180分)
第15回	① Examen de conversación 会話テスト ② Repaso 総復習 ① 授業で学んだ文法項目、語彙などを使ってペアで会話する。 ② Lecciones 4と5の文法項目や語彙の復習練習する。(pp. 22-29) ③ テキストのpp. 68-71のスペイン語検定試験6級の対策問題を解く。 【事前学習】 口頭テストのための予習する。 Lecciones 4と5 (テキストのpp. 22-29)の復習する。(120分) 【事後学習】 期末テストのために準備する。(180分)
第16回	期末試験: Lecciones 4 y 5 Lecciones 4と5のテスト (-ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用 pp. 22-29) 【事前学習】 Lecciones 4-5の復習をしっかりと行う。(180分)
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【○】 3) ICTの活用 【○】 4) 初年次教育 【○】 5) 実践的PBL 【○】
テキスト	『OKINAWA LATINA』スペイン語への架け橋 (沖縄県スペイン語教材開発研究会) (1,000円) 著者: 小波津フェルナンド、尚真貴子、福地恭子、又吉パトリシア 発行: 沖縄国際大学 発行年月日: 2012年3月15日 発行・印刷: 文進印刷株式会社 ISBN978-4-904777-14-5C1087
参考書	1. 講師作成資料 2. インターネット上でスペイン語に関するHP、画像、映像などを検索し、勉強の参考や復習にする。 3. 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社(¥2,800)、またはスペイン語電子辞書
評価方法	最終評価は次の点の合計点とする: 1. 筆記テスト4回と Quiz (60%) 2. 会話テスト (10%) 3. 宿題及び課題の提出 (20%) 4. 授業態度と参加 (10%)
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上: 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点~90点未満: 到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点~80点未満: 到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点~70点未満: 到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満: 到達目標を達成していない 欠 (K) — : 出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1~4との関連】 (英語コミュニケーション学科) 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること

	(観光文化学科) 【 】 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【 】 3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	1. ノート、筆記用具、テキストと出席表を毎回持参すること。 2. 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 3. 毎回QUIZまた小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 4. 授業中はマナーを守ること（無断外出、許可なしでPC・スマートフォン、タブレット等の使用禁止、遅刻しないこと、居眠りと飲食の禁止など） 5. 外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。 6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	質問・相談などは、授業終了後に行う。
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックいたします。

講義科目名称： スペイン語Ⅱ

授業コード： D059A

英文科目名称： Spanish Ⅱ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	選択科目：2004以降（共通科目）／2023以前（大学共通科目 第2外国語）
担当教員			
又吉 パトリシア			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA217		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級スペイン語の習得とコミュニケーション。 【到達目標】 スペイン語Iで学んだ文法を復習し、さらにステップアップして不規則動詞の活用の直接法現在、現在進行形と現在完了形を習得する。 文法の基礎に加えて、話す、聞く、読む、書くの技能を身に付け、スペイン語でコミュニケーションができるようになることを目指す。また、伝統行事の紹介を通してスペイン語の国々にさらなる興味をもってもらおう。		
授業の概要	今回は主に不規則動詞の活用、助動詞、再帰動詞などの現在形の少し複雑な文法項目を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的にします。また、スペイン語Iと同様、音楽、視聴覚教材などを利用し、文法及びスペインと中南米の社会、文化事情、生活習慣などの紹介をしていきます。 予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること。語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと。		
授業計画	第1回 授業概要の説明。授業の進め方、評価の基準についての説明 ① 授業の進め方、評価の基準についての説明。 ② スペイン語Iの復習（語彙、規則動詞現在形の活用、表現、など） 【事前学習】テキストのpp. 6-29を読み、前期に学んだ語彙、表現、文法項目などを復習する。（120分） 【事後学習】p. 74の数字を覚える。テキストのpp. 94-112の語彙集から食べ物と飲み物に関する単語を探し、リストを作成する。 インターネットでスペインバルのメニューを調べる。（180分） 第2回 Leccion 6: ¿Cuánto cuesta? いくらですか？ ① 数字0～10, 000の言い方の練習 ② 時刻の表し方と値段の聞き方。 ③ Dialogo 6の解説と朗読練習。（p. 31） 【事前学習】Leccion 6の文法事項をじっくり読んで理解する。（p. 30） 数字を覚える。（p. 74）（120分） 【事後学習】Leccion 1～6の文法・文の意味を理解し、会話の練習と発音練習をしっかりと行う。 インターネットで値段の言い方の練習する。（120分） 第3回 Leccion 7: ¿Te gusta la comida de Okinawa? 沖縄の料理が好きですか？ ① gustar型動詞の用法。（p. 34） ② Dialogo 7の解説と朗読練習。Tarea7の解説と朗読練習。（p. 37） 【事前学習】Leccion 7の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 6～7の文法・文の意味を理解し、クラスメイトとできるだけスペイン語で会話練習する。（180分） 第4回 ① テスト1 ② Leccion 8: ¿Puedes tocar el sanshin? 三線を弾けますか？(1) ① テスト1 (Leccion 6と7) (pp. 30-37) ② 不規則動詞quererの活用と用法。Dialogo 8の解説と朗読練習。Tarea8のペアー練習。（p. 41） 【事前学習】Leccion 8のquerer動詞の活用を覚える。（p. 38）（60分） 【事後学習】Leccion 8の文法・文の意味を理解し、p. 40の練習を解く。 Leccion4 (p. 22) とLeccion5 (p. 26) の動詞原形の意味を復習。（180分） 第5回 Leccion 8: ¿Puedes tocar el sanshin? 三線を弾けますか？(2) ① 不規則動詞poderの活用と用法。 ② Dialogo 8の解説と朗読練習。（p. 39） 【事前学習】Leccion 8のquerer動詞の活用を復習し、poder動詞の活用を覚える。（p. 38）（60分） 【事後学習】Leccion 8文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。 テキストのpp. 94-112の語彙集から場所に関する単語を探し、リストを作成する。（180分） 第6回 Leccion 9: Voy a la biblioteca. 図書館へ行きます。 ① Dialogo 9の解説と朗読練習。不規則動詞poderの活用と用法。 ② 天気表現。（p. 42）		

	③ ペアでTareas 9の会話練習。(p.45) 【事前学習】 Leccion 9の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～10の文法・文の意味を理解し、p.44の練習を解く。 テキストのpp.94-112の語彙集から家族に関する単語を探し、リストを作成する。 (180分)
第7回	Leccion 10: ¿Tienes hambre? お腹がすいていますか? ① Dialogo 10の解説と朗読練習。不規則動詞tenerの活用と用法。 ② 家族の紹介とtener動詞を使つての慣用句。 ③ ペアでTareas 10の会話練習。(p.49) 【事前学習】 Leccion 10の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 数字0～100の言い方を復習する。(p.74) (120分) 【事後学習】 Lecciones 7～10の文法・文の意味を理解し、不規則動詞の活用をよく覚える。 (180分)
第8回	Repaso Lecciones 8 a 10: 不規則動詞の総合復習 Lecciones 8～10の不規則動詞の活用、用法の総合復習 【事前学習】 Lecciones 8～10の文法事項をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】 Lecciones 8～10の文法・文の意味を理解し、不規則動詞の活用をよく覚える。 (180分)
第9回	① テスト 2: Lecciones 8～10 ② 映画で中南米の行事紹介 ① Lecciones 8～10のテスト。(pp.38-49) ② 映画を通してメキシコの伝統文化、死者の日の紹介 【事前学習】 インターネットで映画の”リメンバーミー”について調べる。(60分) 【事後学習】 Leccion 11の文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と発音練習を しっかりと行う。(180分)
第10回	Leccion 11: ¿A qué hora te levantas? 何時に起きますか? (1) ① 再帰動詞の説明と直説法現在活用形。 ② Dialogo 11の解説と朗読練習。 ③ 再帰動詞の活用練習。Ejercicios 11 (p.52)の練習。 【事前学習】 Leccion 11の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 11の文法・文の意味を理解し、動詞の活用と語句の書き取り練習と 発音練習をしっかりと行う。(180分)
第11回	La Navidad y el Año Nuevo en el Mundo español スペイン語圏の年末年始について スペイン語の長文読解を通してスペイン語圏のクリスマスとお正月の習慣の紹介。 【事前学習】 テキストのpp.64-67の文章に目を通しておく。(120分) 【事後学習】 新しい単語や表現などをしっかりと覚える。(60分)
第12回	Leccion 11: ¿A qué hora te levantas? 何時に起きますか? (2) ① 再帰動詞の活用の復習。 ② 曜日、時間の復習。 ③ 日常生活について語る。Tareas 11の練習。(p.53) 【事前学習】 Leccion 11の文法事項を復習する。(60分) 【事後学習】 Leccion 11の文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と発音練習を しっかりと行う。(180分)
第13回	Leccion 12: ¿Cómo has estado? 元気でしたか? ① 現在分詞と現在進行形の活用。 ② Dialogo 12の解説と朗読練習。(p.55) ③ Tareas 12の解説と朗読練習。(p.57) 【事前学習】 Leccion 12の文法事項を理解し、Leccionに目を通しておく。(p.54) (60分) 【事後学習】 Leccion 12の文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と発音練習を しっかりと行う。(180分)
第14回	Leccion 12: ¿Cómo has estado? 元気でしたか? ① 過去分詞と現在完了形の活用。 ② Dialogo 12の解説と朗読練習。(p.55) ③ Tareas 12の解説と朗読練習。(P.57) 【事前学習】 Leccion 12の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 12の文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と発音練習を しっかりと行う。(180分)
第15回	Repaso Lecciones 11～12 復習 動詞の現在進行形と現在完了形の復習。 Lecciones 11～12の復習。 【事前学習】 Lecciones 11～12の文法事項をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】 Leccion 11～12の文法・文の意味を理解し、語句の書き取り練習と

	発音練習をしっかりと行う。(180分) 第16回 期末試験。 【事前学習】 Lecciones 11～12をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】 Lecciones 11～12をしっかりと復習する。(180分)
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『OKINAWA LATINA』スペイン語への架け橋 (沖縄県スペイン語教材開発研究会) (1,000円) 著者：小波津フェルナンド、尚真貴子、福地恭子、又吉パトリシア 発行：沖縄国際大学 発行年月日：2012年3月15日 発行・印刷：文進印刷株式会社 ISBN978-4-904777-14-5C1087
参考書	1. 講師作成資料 2. インターネットです페인語に関するHP、画像、映像などを検索し、勉強の参考や復習にする。 3. 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社(¥2,800)、またはスペイン語電子辞書
評価方法	最終評価は次の点の合計点とする： 1. 筆記テスト3回と Quiz (60%) 2. 会話テスト (10%) 3. 宿題及び課題の提出 (20%) 4. 授業態度と参加 (10%)
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 (英語コミュニケーション学科) 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること (観光文化学科) 【 】 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【○】 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【 】 3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	1. ノート、筆記用具、テキストと出席表を毎回持参すること。 2. 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 3. 毎回QUIZまたは小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 4. 授業中はマナーを守ること(無断外出、許可なしでPC・スマートフォン、タブレット等の使用禁止遅刻しないこと、居眠りと飲食の禁止など) 5. 外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。 6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	質問・相談などは、授業終了後に行う。
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： コンピュータ基礎演習（2024年度以降入学生適 授業コード： 4070A 4070B
用）

英文科目名称： Basic Computing

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年次	2単位 (0-2)	選択科目：共通科目
担当教員			
内間 清晴・金城 豪			
授業形態：演習	ナンバリング：GEC101		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	「テーマ」 PCの基礎的操作技術の習得 「到達目標」 具体的にはMicrosoft OfficeのWordを使用してのワープロによる基本的な文章作成、Excelを用いた基本的な数値計算、PowerPoint による基本的なプレゼンテーション用スライド作成を習得することを目標とする。 (1) 基本的な情報倫理が理解でき、情報化社会へ倫理感を持って参加できる。(態度) (2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。(技術・表現) (3) 130字以上／1分間のタイピング能力を身につけることができる。(技術・表現) (4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。(知識・理解) (5) Wordによる基本的な文章作成ができる。(知識・理解) (6) Excelによる基本的な数値計算ができる。(知識・理解) (7) Power Pointによる基本的なスライド作成できる。(知識・理解)		
授業の概要	パソコン初心者や不得意・不慣れな者を想定し、コンピュータの基本操作、コンピュータの周辺機器、ネットワークの基本概念と安全に利用する方法、基本的なコンピュータセキュリティと情報倫理、インターネットでの情報取得や電子メールの使用方法、速くて正確にキーボードを入力するためのタイピング練習、Microsoft OfficeのWordを使用したビジネス文書作成、Excelを用いた数値計算・グラフ作成の基本操作及び基本的な関数、Power Pointによるプレゼンテーション資料作成の基本操作を通して、パソコンやインターネットを活用する基礎的能力を習得することを目的とする。 ・毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。(15回分の講義内容はTeamsを通して配布いたします。) ・各講義の初めに、プロジェクターを使用し、講義内容の説明を行う。 ・講義時においては、教師と学生の双方向(1対1)にコミュニケーションができるコールシステムを使用し、学生の質問に答える。		
授業計画	第1回 オリエンテーション、電子メールの送受信、Teamsの使用方法等について学習する。 【事前学習】次の授業で行われる課題について予習を行う。(2時間) 【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。(2時間) 第2回 パソコンの概念、インターネットの仕組み、ソフトウェアとハードウェア、フォルダの作成、基本的な情報倫理、電子メールの仕組み・書き方・注意点、Windowsの基本操作、タイピング等について学習する。 【事前学習】次の授業で行われる課題について予習を行う。(2時間) 【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。(2時間) 第3回 Wordの基本操作 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② Wordの起動方法・画面構成 文字の入力、文字列や行の選択・解除・削除・コピー、文字の書式、文字印刷を学習する。 ③基本的な文書を作成し、one drive 及びUSBフラッシュメモリに保存する方法を学び、Teamsでの提出補法を学習する。 【事前学習】次の授業で行われる課題について予習を行う。(2時間) 【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。(2時間) 第4回 Wordによる文書を編集しよう ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②Word 2021の画面構成を確認する。 ③ アルファベット／数字を入力 定型文書を作成 ページの設定、段落の設定等について学習する。 【事前学習】次の授業で行われる課題について予習を行う。(2時間) 【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。(2時間) 第5回 Wordによる図形・写真・イラストを配置 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②図形を作成、図形のサイズを変更、図形と周りの文字の位置設定等を学習する。 【事前学習】次の授業で行われる課題について予習を行う。(2時間) 【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。(2時間) 第6回 Wordによる写真の挿入		

	①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②写真、SmartArtおよびワードアートの挿入法について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第7回	EXCELの基本操作 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②Excelでできること、データの入力、変更、修正、消去、セルの選択、データのコピーと移動等について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第8回	EXCELと基本的な関数 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②数式の入力、平均、最大値、最小値等の関数の入力について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第9回	表の作成 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②ワークシートの操作、行や列の挿入削除、行の高さや幅の調整、セルの書式設定等について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第10回	グラフの作成 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②グラフを作成・修正、印刷等について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第11回	データベースの基本的な操作方法 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②テーブルの作成、並べ替え、抽出について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第12回	PowerPoint基本的概念 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②プレゼンテーションの基礎、プレゼンテーションの留意点およびPowerPointの画面構成等について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第13回	スライドの文字書式の設定 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②フォントの種類やサイズの変更、フォントの色やスタイルの変更等について学習する。 スライドの挿入、削除、スライドの種類、スライドの文字入力および図の挿入等について学習する。 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第14回	スライドの文字以外の要素追加 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②スライドの読みやすさ、スライド番号の表示、アニメーション効果の設定、スライドの提示 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間） 【事後学習】 授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。（2時間）
第15回	プレゼンテーションスライドの作成 ①ブラインドタッチ習得のため、演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ②各自でテーマを決め、発表用スライドを作成する。（必ずアニメーション効果を利用する。） 【事前学習】 次の授業で行われる課題について予習を行う。（2時間）

	【事後学習】授業中において終えられなかった課題演習は次回授業までに終わらせておくこと。 (2時間) 第16回 なし
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【 】 2) 情報リテラシーに関する科目 【○】 3) ICTの活用 【○】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	今すぐ使えるかんたん Word&Excel&PowerPoint 2021 稲村暢子著 技術評論社
参考書	随時紹介する。
評価方法	課題/タイピング能力・・・90% 授業への参加意欲・・・10%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 (英語コミュニケーション学科) 【 】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること (観光文化学科) 【 】1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 【 】2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。 【 】3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を見つけて行動することができる。 【○】4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
履修上の注意	・毎授業で学習した内容の復習に努めてください。学習した内容を十分に理解していないと次の課題に取り組めません。 ・授業態度が悪い場合には程度の応じて減点します。
オフィスアワー	水曜日 4 限目 内間研究室 上記の時間以外でも対応可能（事前予約必要）
課題に対するフィードバック方法	提出された課題は担当教員がチェックし、提出した課題の内容が不十分な場合には、改善点等を説明し、再提出してもらいます。